

Le Lys Blanc

✧学長ごあいさつ✧

緑ヶ丘修道院について



白百合女子大学
学長 猪狩 友一

緑ヶ丘修道院の解体工事が始まろうとしています。この夏にはすべて撤去され、更地になるはずですが。

修道院の建物は、大学創立 10 周年に当たる 1974 年に竣工しました。「白百合女子大学創立 50 周年記念誌」の年表によれば、同年 12 月 23 日には祝別式が挙行されています。私が本学に着任したのは 1990 年ですが、修道院が閉じてしまうまでは、大学の敷地内に修道院があるのではなく、修道院の付属施設として大学が設置されているという感覚でした。マ・スール方が学長はじめ、学科の教員として、また主な事務組織の管理者としておられ、まさにマ・スール方の大学というイメージでした。

もうこの大学に勤務して 30 年以上にもなりますが、修道院の建物には殆ど立ち入ったことはありません。そこはマ・スール方のお住まいであり、まさに「聖」なる場所だったと思います。ただ、付属の聖堂については、教職員や近隣の信者の皆さんには、お祈りに集う場所であったようです。

解体を惜しむ方々の集いが、昨年 11 月と 12 月の 2 度開かれました。最初は 11 月 29 日に、最後の修道院長であった森本マ・スールの呼びかけで、同窓生の皆さんが集まった「祈りの会」、次は 12 月 20 日に、カトリック教育センターの主宰で

催された「感謝の集い」です。「祈りの会」では、高山貞美神父様によるミサの後、迫本宣子様によるハープの演奏も行われました。クララホールでの会食では、修道院にまつわる貴重な思い出をお聴きすることもできました。また、「感謝の集い」では本学教職員が集まり、高山神父様による聖書朗読や祈り、最後には全員で聖歌「みははマリア」を謳いました。

いずれの会も天候に恵まれ、管財課の皆さんが清掃してくださった聖堂は、とても心地よく、新鮮な場所でした。大きくしつらえた窓から外の木立がよく見えて、どこかの高原のチャペルにいたような錯覚を起しそうになりました。初代学長の三島マ・メールは薔薇がお好きだったとのことですが、窓外には蔓薔薇があったかと思われるアーチも見えました。聖堂だけでも残せないかとの声も、何人かの方々から聞きました。

高山神父様は、終わりは始まりでもあるとお言葉を示してくださいました。修道院も付属の聖堂も取り壊されてしまっていますが、これは単なる終わりではなく、新しい何かの始まりでもあると思います。マ・スール方の思いがいっぱい詰まった緑ヶ丘修道院の建物はなくなりますが、私たちの心にその思いは受け継がれていくことでしょう。

2025年
1月15日発行

Contents

- 緑ヶ丘修道院について
学長 猪狩友一 1
- 白百合祭 特集 2~5
- 新任教員ごあいさつ 5
- 留学 6
- 国際交流・社会貢献・表彰 7
- トピックス 8



参加団体からのコメント

トークショー開催

白百合祭実行委員会 イベント企画ヘッド
井上 桃歌 (国文3年)

今年の白百合祭は俳優の木戸大聖さん、声優の増田俊樹さんをお招きしました。1日目は木戸大聖さんをお招きし、客席からの登場で大盛り上がり！会場の外まで歓声が聞こえていました。2日目は増田俊樹さんをお招きし、皆さまから募集した質問コーナーでは真剣に答えてくださいました。

両日ともたくさんの方にお越しいただき、会場では笑い声が響いていました。新たな一面を知ることができ、素敵なお話を聞くことができました。



チャリティー抽選会

白百合祭実行委員会 チャリティーイベントヘッド
佐藤 愛利香 (国文3年)



今年度も多くの方々にご参加いただき、盛況のうちを終えることができました。当日ご来場くださった皆様がワクワクしながら当選番号を見つめ、受け取った賞品を笑顔で開封する姿を見ることができ、大変嬉しく思っております。多くの企業の皆様にもご協力いただき、豪華な賞品を参加者の皆様にお届けできたことを心より感謝申し上げます。

本イベントで得た収益金は全額、日本赤十字社「令和6年能登半島地震災害義援金」に寄付いたしました。



縁日

白百合祭実行委員会 イベント総務渉外ヘッド
安間 葵愛 (発達3年)



今年の縁日では、射的とお菓子すくいを行いました。来場者の皆さまに笑顔になって楽しんでいただくことができ、実行委員一同とても嬉しく思います。看板作りやお菓子すくいの準備ではイベント総務渉外のみんで可愛く仕上げました。実行委員として、第59回白百合祭の縁日にて射的とお菓子すくいを企画・運営し、本祭2日間を大成功で終えることができ、良かったです。ありがとうございました！



お饅頭販売、 総合案内所運営

学生会執行部
酒井 和泉 (発達3年)



学生会執行部は、白百合祭限定、広島のお餅舗和菓子所「平安堂梅坪」とのコラボ商品のお饅頭販売と総合案内所運営を行いました。販売や総合案内所の運営を行う中で、学内外のさまざまな方々と交流することができ、非常に有意義なものとなりました。みなさまが購入してくださったお饅頭の売上金は、日本赤十字社を通じ、令和6年能登半島地震災害義援金として寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。



Ringling!

SHIRAYURI FESTIVAL

唐揚げ販売

団体初等1年
S.Y、A.T (初等1年)

団体初等1年は唐揚げ販売を行いました。初めての白百合祭だったので、緊張や、不安もありましたが来場者の方とも関わりを持つことができました。初めは売り切ることができるか不安でしたが、2日間とも完売をする目標も達成することができ貴重な経験をすることができました。改めて心から感謝申し上げます。買いに来てくださった皆様ありがとうございました。



ペットボトル販売、ガチャガチャ

ほわりり (4年生有志団体)
迫間 理紗 (発達4年)



私達の団体は、昨年まで実行委員を務めていた4年生4人で出店を行い、多くの方に足を運んでいただきました。今までとは別の形で白百合祭に関わることができて、楽しい時

間を過ごすことができました。学生生活最後の白百合祭で素敵な機会をくださった白百合祭実行委員の皆さま、ありがとうございました。

チアリーディング 演技披露

チアリーディング部
小島 花音 (初等3年)

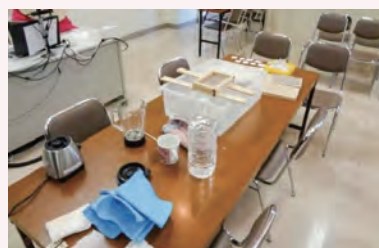
チアリーディング部では、両日午前・午後の4公演で演技披露させていただきました。皆様の暖かい眼差しと声援のもと、チアスピリットである元気・勇気・笑顔を部員全員で精一杯お届けし、忘れられない時間を過ごす事ができました。OGの先輩方、両親や友達をはじめ、足を運んでくださった沢山の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。



手すきはがき体験

学生エコサポーター
中畑 颯花 (児童2年)

学生エコサポーターでは、手すきはがき体験を行いました。老若男女問わず、たくさんの方に体験していただきました。特に、完成したオリジナルのはがきを受け取りに来てくださったときの笑顔が印象に残っており、白百合祭に参加できたことを嬉しく思います。参加してくださった方はもちろん、白百合祭を支えてくださった皆さまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。





新任教員ごあいさつ

人間総合学部初等教育学科
准教授 根本 裕美

探究する「力」をつけるための伴走者として

今年度後期より、人間総合学部初等教育学科に着任いたしました根本裕美と申します。

長い間、小学校の教育現場で働いてきました。特に小学校低学年の生活科や、中学年から始まる総合的な学習の時間の実践や研究、幼児期から小学校への接続に関わる実践や研究、特別活動などを通じて、子どもの輝く姿、自信をもち明日を楽しみに思う姿をたくさん見ることができました。

子どもを育む現場は楽しいものです。しかし、子ども一人一人に寄り添いたい、もっとよい授業を行いたい、と願いながらの日々は、迷い戸惑うこともたくさんあります。そんな時は自分で考え、まわりの人に尋ね、最適解を探っていくしかありません。そして、結果に関わらず振り返った時には、自分自身も成長していることを見出すことと思います。まさに探究のプロセスを具現化していくのだとも言えるでしょう。そのためにも、本学の掲げる「保育・教育に関わる者として生涯学び続けるための探究の方法を身につけ、自ら取り組むべき課題について見通しを持っている。」という「力」を身に付けておくことは大切です。

教育を志す皆さんの伴走者として、そして教育の場で豊かに人生を拓くための橋渡しをすることができるよう、私自身も研鑽をしてみたいです。

どうぞよろしくお願いいたします。



留学報告

■ 本学の留学制度について

本学では、世界の9か国・28校の留学先があります。主に留学先の学費が免除される交換留学と留学先での学費が必要となる派遣留学の2種類あります。期間は、2週間程度の研修から最長1年間の留学があります。学生は目的や希望によって留学先と期間を選ぶことができます。また、長期留学に対しては、奨学金制度もあります。

■ 留学体験

山崎 怜子

(大学院文学研究科修士課程フランス語フランス文学専攻1年)

留学先：パリ・シテ大学 種類：交換留学

期間：2023年9月～2024年6月



私は2023年9月から約10ヶ月間、交換留学生としてパリ・シテ大学で学ばせていただきました。私の学んだパリ・シテ大学は、国立図書館や首都最大のチャイナタウンがある13区に位置します。いくつかの大学もあり学生たちで賑わっている印象を受けました。大学では現地学生と同じ授業、そして留学生のためのフランス語の授業を受講しました。毎週金曜日の放課後、日仏協会の活動で同世代のフランス人学生と定期的に交流する機会を得ることができました。ゲームやカラオケで交流を深め、またそれぞれの文化について学ぶ機会を設けてくださり、それはとても楽しく有意義な時間でした。この留学ではフランス語を学ぶだけでなく異国の地での生活において様々な経験をする

ことができました。ヴァカンス中には白百合発祥の地であるシャルトルやヨーロッパ各地を旅行し、素晴らしい思い出を作ることができました。この充実した留學生活の機会を与えてくださった白百合女子大学の先生方、国際オフィスの方々へ心より感謝申し上げます、この経験をこれからの人生に役立ててまいります。



井上 奏

(人間総合学部初等教育学科4年)

留学先：ソウル女子大学 種類：海外研修

期間：2024年8月(3週間)

私は今回、8月7日から8月23日まで海外研修でソウル女子大学校に行きました。初日はレベルテストを受け、2日目からそれぞれのクラスに分けられ授業を受けました。授業以外にも、漢江に行って船に乗ったり、KPOPダンス、MBCツアー、ロッテワールド、景福宮で韓服を着たり、と様々な体験ができました。私自身、人見知りなこともあり、寮生活を初対面の人と生活するのが不安でした。ですが、過ごしていくうちに仲良くなり友達も増え、楽しかったなと思います。最後に、印象に残ったこととしてはソウル女子大学校の関わってくれた学生の方たちの7割くらいは日本語が話せました。なので、言語で困ることはなかったですし、韓国語で話したい時には話せる場を作ってくれたのでとてもいい環境だったと思います。今回、1人で海外に行くのは初めてだったので緊張していましたが、大学生最後の夏休みに楽しく過ごすことができ参加してよかったと思います。



国家資格「登録日本語教員」への道が開かれました



▲海外実習(韓国)

本学の日本語教育副専攻は1996年に設置されて以来、多くの修了生を送り出してきました。日本語教育は現代社会で避けては通れない「多文化共生」に最も関連の深い分野とも言えますが、修了生の中には、日本語教員だけではなく、いろいろな形で活躍の場を広げている方もいらっしゃいます。2024年4月から国家資格となった日本語教員ですが、本学の日本語教育副専攻は長年培ってきた養成機関としての蓄積をもとに、新制度への対応をいち早く済ませ、「登録日本語教員」の養成を行う「登録日本語教員養成機関」として文部科学省に認定されました。今後、教壇実習を行う「登録実践研修機関」としても申請予定です。来年度の新入生から「登録日本語教員」の資格取得カリキュラムで勉強することができます。これまでのカリキュラムで修了した卒業生のうち、卒業年度、あるいは現役教師が否かにより経過措置が受けられますので、本学ホームページ、または文部科学省の該当サイトをご確認ください。

また、日本語教育副専攻に関するイベントの報告や在学生の様子などは大学ホームページ(国語国文学科ページ)や国語国文学科公式Instagramで情報発信をしております。あわせてご覧いただければ幸いです。



▲登録日本語教員の資格取得に係る経過措置



▲国語国文学科公式Instagram

国際交流・社会貢献・表彰

ASEACCU 国際会議の報告

ASEACCU 国際会議が、8月20日(火)から8月23日(金)までの日程で、オーストラリアンカトリック大学(オーストラリア・シドニー)にて行われました。ASEACCUとは、インドネシア、オーストラリア、韓国、カンボジア、タイ、台湾、中国、日本、ならびにフィリピンのカトリック大学が加盟する連盟で、毎年、教職員と学生が参加する国際会議が行われています。今回、本学からは教職員2名と学生2名が派遣され、今年のテーマである、"What makes a Catholic University Catholic?" Expressing and Integrating Identity and Mission について、講義やワークショップを通じて理解を深めました。

■派遣報告

岡本 麗 (文学部英語英文学科4年)

今年度のASEACCU 国際学生会議はオーストラリアで開催され、「カトリック大学がカトリックたらしめるものは何か」について講義・ディスカッション・発表と様々な形式で考えを深めました。ASEACCUではテーマへの理解を深めることが主な目的ではありますが、学生同士の交流やオーストラリアの伝統文化・歴史について学ぶ機会も多く設けられていたのが印象に残っています。また、レクチャーを受ける際も食事の際も席は決まっておらず、多くの学生と交流出来たことは、私にとってかけがえのない思い出です。



里見 悠 (文学部英語英文学科2年)

8月20日～8月23日にオーストラリアでASEACCUに参加して参りました。アジア圏とオーストラリアのカトリック大学生と交流し、カトリックの精神をミサや講義、ディスカッションを通して深く学ぶことができました。特に韓国で行われていた、隣人愛を基礎とした地域交流型のボランティア活動に強く惹かれました。また、学び以外にも様々な国の友人を得ることができました。最終日には個人的に街へ遊びに行くほど仲が深まり、彼らとはASEACCU後も交流が続いています。今回の参加では英語力だけでなく、友人との交流の中での学びも得られました。このような機会に恵まれたことに感謝し、今後の学生生活、就職活動に活かしていきたいです。



表彰

2024年度フランス語ディクテコンクール

- レベルA 最優秀賞(白水社賞) 宮本美実(フ文1年)
- レベルB 最優秀賞(白水社賞) 平田夏蓮(フ文2年)
- レベルC 最優秀賞(白水社賞) 早坂百嶺(フ文4年)

2024年英語スピーチコンテスト

- 優勝 渡邊優羽(英文4年)「Consider the Need for Intergenerational Bonds」
- 2位 里見 悠(英文2年)「Historical Sensitivity -Learn from the Embarrassment-」
- 3位 大日方美帆(初等4年)「Fun and Learning」

高校生のための「フランス語サマースクール」開催！

2024年7月30日・31日の2日間にわたり、高校生のための「フランス語サマースクール」が開催されました。白百合女子大学の高大連携プログラムとして、2017年から毎年夏に実施している企画で、今年も40名を超える高校生たちが、白百合のキャンパスでフランス語やフランス文化を学びました。

初心者、準初心者、経験者の3クラスに分かれ、文法事項や表現を学習しそれを用いて2日目の午後に全員がフランス語でスピーチを行いました。どのクラスでも短い時間で全員が驚異的な成長を遂げ、高校生の皆さんの無限の可能性を感じました。ほかにもグループで話し合う探究学習や、文化や文学の授業にも積極的に取り組み、最後のアンケートには、参加者の97%がプログラムの内容に「満足」(81%)または「どちらかといえば満足」(16%)、同じく97%が「今後もフランス語(フランス文化・文学)を学びたいと思う」と答えてくれました。

これからもぜひフランス語の勉強を続け、フランスやフランス文化に関心を持ち続けてほしいと思っています。



児童英語指導者養成プログラムイベント English Summer Campus の報告



児童英語指導者養成プログラムには、英語英文学科および初等教育学科の学生が所属し、小学生に英語を教える理論と実践を学んでいます。2023年からは、小学生を対象とした英語イベントも企画・実施しています。今回は、7月29日から31日の3日間、「SDGs」をテーマに毎日約35名の小学生を迎え、CLIL(内容言語統合型学習)を取り入れた活動に関して報告します。1日目は、Nick Bland作『Walk of the Whales』の絵本を用いて、海洋ゴミ問題について考えました。2日目は、真珠まりこ作『もったいないばあさん』をもとに、6R(Reduce・Reuse・Recycle・Refuse・Return・Recover)を学びながら廃材で楽器を制作しました。3日目は、栄養や食糧問題について学び、廃材を用いて「お弁当」を作り上げました。

小学生が真剣に考え、話し合い、創作活動を行う姿は非常に頼もしく、豊かな創造性に感銘を受けました。また、参加学生も、準備段階から、子どもたちにわかりやすく英語で伝えるために何度も意見を交わし、真剣に取り組んでいました。多くの苦労もありましたが、学生たちが主体的に関わり、その経験が将来の力に繋がるものと期待しています。今後も本プログラムでは、学生が主体的に取り組めるような活動を提供し、学生が意欲を持って成長できる場を作っていきたいと考えています。



平野啓一郎氏をお招きした講演会 「三島由紀夫 生誕100年を前に」開催

2024年9月7日(土)、文学部国語国文学科の井上隆史教授を聞き手に、平野啓一郎氏をお招きして講演会「三島由紀夫 生誕100年を前に」を開催しました。クララホールに100人を超える多くの方が集まりました。平野氏は、さまざまに矛盾する側面を持ちながら、そのどれもが真の存在であるような三島由紀夫の複雑な生のあり方について、優しい語り口でご講演くださいました。



桐朋女子高等学校と図書館利用協定を締結しました

2024年8月1日に桐朋女子高等学校と図書館利用に関する協定を締結しました。大学、高校相互の交流、理解を深め、さらなる教育連携を目指します。



めぐみ荘の特別公開イベントを行いました



10月29日、30日の二日間、めぐみ荘(旧菊池家住宅主屋)の特別公開イベントを実施しました。めぐみ荘は、2014年に国の有形文化財に登録され、例年、秋の「東京文化財ウィーク」の期間に特別公開しています。

【つながる！をキーワードに】 第2回就職総合ガイダンス&プレミアム業界・企業セミナー開催

2024年9月29日(日)に第2回就職総合ガイダンスを実施しました。今年度よりガイダンスははじめキャリア支援課で実施するイベントは、学部1・2年生も参加対象とし、低学年からの職業観醸成を目指しています。ガイダンス当日は、インターンシップや今後に向けての動き方、キャリア支援課の活用方法などについての説明、後半は企業と「つながる」をテーマに、業界トップの企業様をお招きして「プレミアム業界・企業セミナー」を実施しました。ご協力いただいた企業様は、以下の通りです。

(敬称略)

近畿日本ツーリスト／全日本空輸／帝国ホテル／TDK／東京エレクトロン／東ソー／三菱UFJ信託銀行／ワコール

企業様ごとに教室にわかれ3ターム制で行い、なかには8社すべての企業様のお話を伺いたいという熱心な学生もいました。

2025年2月4日(火)～6日(木)には、白百合生の採用意欲の高い企業および本学が推奨できる企業を招聘しての合同企業セミナーを予定していますので、ぜひ積極的にご参加ください。(対象：学部1～3年生、修士1年)



キャリア支援課で実施している
イベントやセミナーの情報はこちらをチェック!!

- 学部1、2年生：manabacourse ▶【P】キャリア支援課
- 学部3、4年生／修士1、2年生：求人検索NAVI

Campus Square をリニューアルしました



リニューアル後のCampus Squareは、スマホでの閲覧に適した画面設計となり、学生からの要望が多かった公開中の掲示の検索機能が追加されました。

学食で交通系 IC カードが使えるようになりました

11月よりステラマリスとカフェテリアで交通系 IC カードでの支払いが利用できるようになりました。新千円札、新500円硬貨にも対応しています。



アマカピアでPayPay が使えるようになりました



7月よりアマカピアでPayPayの決済が利用できるようになりました。

〈ご寄付への御礼〉

白百合女子大学へのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。寄付者の皆様への感謝を込めて、ここにご芳名を掲載させていただきます。多くの皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。

室伏 彩 様

※お申し込み時のご芳名公開可否のご意向に沿って掲載しています。